

全カ!なるほど書字授業

Vol.5 書き初めを楽しくマスターしよう

作／藤井浩治 画／ホリグチイツ



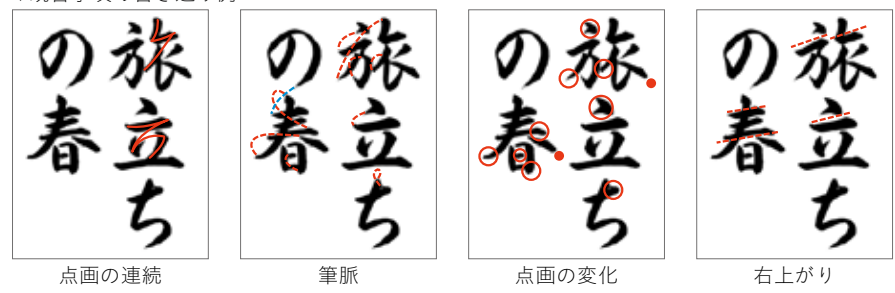
字形の
学び方
工夫

その1

既習事項を活用すべし

- ①書き慣れた半紙を使う
手本作成ソフト「お手本くん」
(学習指導書付属DVD)を活用し、半紙大の教材文字(手本)を作成する。
- ②試し書きをする
- ③教科書の「三年間のまとめ」(P100-101)を見て、自分の課題を手本に書き込む
〈課題の例〉
 - ・丸み
 - ・右上がり
 - ・点画の変化
 - ・筆脈
 - ・点画の連続 等
- ④書き込んだことに気をつけて書く
- ⑤書き込んだことについて自分で答え合わせをする

▼既習事項の書き込み例



字形の
学び方
工夫

その2

名前の字形を学ぶべし

- 掲示に差が出てしまう原因の一つに、名前の「書きぶり」がある。名前の字形学習をしつかり行うとよい。
- ①個別の名前手本を配布する
手本作成ソフト「お手本くん」(学習指導書付属DVD)を活用しよう。
 - ②写し書き練習をする
名前は全員違うため、全体指導やワークシートの活用が困難。半紙の下に手本を敷いて「写し書き」するのも、効率的に練習するための一つの方法。



▲手本作成ソフト「お手本くん」



配列の
学び方の
工夫

その2

書き始めの位置を意識すべし

「文字の大きさ」を考えるときは、「字間」と「余白」に気をつけよう。「横ずらし法」・「目測」を活用することで、ポイントを意識しやすくなる。

①横ずらし法

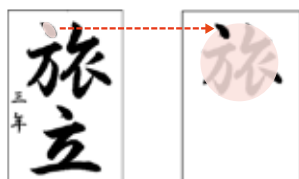
字間は、書き始めの位置の目測が重要。一画目の上に穂先を浮かせて置き、そのまま右の書き初め用紙へ水平移動して書き始める。

②目測

「横ずらし法」では文字と文字の筆脈を意識することが難しかったため、慣れてきたら「目測」で文字の位置を決めて書いてみよう。



文字の
位置が
よくなってるー！



▶横ずらし法



配列の
学び方の
工夫

その1

折り目を活用すべし

配列の主なポイントは、「行の中心」と「文字の大きさ」。
四等分の折り目を活用することで、ポイントを意識しやすくなる。

・中心となる点画に気をつけて練習する

旅立ちの春
三年 平野 勇太

・「四等分の折り目」にほぼ当たる画

旅立ちの春
三年 平野 勇太

・「四等分の折り目」に当たらない画

旅立ちの春
三年 平野 勇太

・「四等分の折り目」からはみ出る画

旅立ちの春
三年 平野 勇太

教科書の
文字（手本）も
書き初め用紙も、
同じように
折り目を付けます
あまり強く折ると、
筆が引かかるので
注意しましょう

